

「現場の苦勞がわかっていない(怒)」 「第2波への備え出来ない」

コロナ禍への対応、市民の願いと大きなかい離

新型コロナウイルス対策
補正予算

検査、療養・入院対策の予算なし

6月4日から始まる市議会では、新型コロナウイルス感染症対策等に係る補正予算が審査されます。総額は、210億円。そのうち『定額給付金』に係る事業が95% (198億8千万円) を占めます。市独自の取り組みは、3億6千万円しかなく、PCR検査や感染症対策の医療供給体制を整える予算はごくわずか。

近隣市で、PCR検査の導入、病床確保、軽症者や最前線にいる医療スタッフに対応したホテル一時借り上げ、医療スタッフへの危険手当など、取り組みが広がっています。そんな中で、流山市の取り組みはあま

りにもいびつです。また、公共施設・公園のトイレや手洗い場における自動水洗化に総額1億6千万円を投入するといった、教育の支援体制もゼロ予算に…。



今やるべきは「第2波への備え」、 「感染対策の充実」：市民感覚とも現場の実態とも乖離した施策の優先順位は本当に深刻です。

6月議会のスケジュール

会期 6月4日～6月12日 8日間

(議案33件、請願・陳情2件、発議7件)

6月4日(木) 本会議 午前10時開議

総務委員会

8日(月) 市民経済委員会(午前)

総務委員会(午後)

9日(火) 都市建設委員会(午前)

教育福祉委員会(午後)

12日(金) 本会議 午後1時開議

議案・陳情・意見書など採択

特別定額給付金

なんでもご相談ください。

流山市でも申請書が次々と届き始めています。不安なことがあったら、ぜひ、日本共産党にご相談ください。



他にも、「生活が苦しくなった」「職場を首になった」など、深刻な問題の解決に力をつくしています。

流山市役所市議会共産党控室まで
(7158) 1111 (内線664)

学生「応援」 対象拡大へ

コロナ禍で苦しむ学生を応援すると流山市が5月20日から受付を開始した「学生応援給付金」。学生や保護者からは、対象・条件が厳しすぎるとの声が…。これまでに、申請者はたった一人です。

日本共産党が、条件を大幅に緩和しよう働きかける中で、当局も対象拡大へ見直しました。

地域医療を守る請願 署名にご協力ください。

東葛病院、東葛健康友の会などと協力し、千葉県知事と流山市長に、新型コロナウイルス感染症に対応する医療体制強化・整備のため支援を求める請願運動が始まりました。

みなさまのお宅にも署名用紙をお届けします。請願運動にご協力ください。



流山民報

6月号外 2020年6月4日
発行：日本共産党流山市議団
電話：7157-6140